

レジメン名

Doxorubicin療法

出典

改訂第2版 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法
PMID: 1873773
PMID: 24618336

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

子宮平滑筋肉腫

☒進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

投与減量の基準

ANC	500/mm ³ 未満(7日以上継続)		
PLT	5万/mm ³ 未満(出血が認められる)		
PLT	2.5万/mm ³ 未満		
その他	FNの発現 Grade3以上の下痢・口内炎・その他の非血液毒性 1段階60mg/m ² →2段階48mg/m ²		

投与中止の基準

ANC	1,500/mm ³ 以下	PLT	10万/mm ³ 以下
AST	100IU/L以上	ALT	112IU/L以上
T-bil	1.8mg/dL以上	LVEF	60%未満
その他	Grade4の非血液毒性 有害事象により2段階減量後も減量基準に該当する有害事象が再度認められた場合		

1クール期間 21日

総クール数 6コース

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
ドキソルビシン	75mg/m ²	生食 全量100mL	30分	d1

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、溶解液まで含む)
<DIV> day1 ①パロノセトロン0.75mg/バッグ+デキサート9.9mg(15min) ②ドキソルビシン75mg/m ² +生食全量100mL(30min) ③生食50mL/フラッシュ用 <内服> day1-3 アプレビタントカプセル(125-80-80) day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食後 day2-4 デカドロン(4mg)2錠 1×朝食後 day1-4 オランザピン5mg 夕食後 (糖尿病は禁忌、高齢者は2.5mgへ減量を考慮するなど慎重に投与)